

Title	目で見るWHO 第49号 表紙・目次・資料等
Author(s)	関, 淳一
Citation	目で見るWHO. 2012, 49
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/86748
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

目で見る WHO

「歯と健康」

Ageing and Health
～Good health adds life to year～

高齢化と健康
～健康であってこそその人生～

— 第49号 —

2012 夏号

発行 公益社団法人 日本WHO協会

日本WHO協会とは

社団法人日本WHO協会は、世界保健機関(WHO)憲章の精神を普及徹底し、その目的達成に協力し、我が国及び海外諸国の人々の健康増進に寄与することを目的として設立された団体です。設立より半世紀近く、関西を拠点にグローバルな視野から国内外の人々の健康を考え、行動しており、今後も積極的に目的達成のため活動していきます。

- (1) WHO憲章精神を普及するための健康に関するセミナー等の開催及び機関誌・広報等の啓発事業
- (2) 健康に関する調査研究の受託・委託及び助成並びに研究成果に基づく提言等の研究事業
- (3) 国内外で健康に関する社会貢献活動を行う企業、団体並びに個人との連絡・調整・協力等の連携事業
- (4) WHOの事業目的達成に寄与するための募金活動及び募金収益の拠出並びに活動協力等の支援事業
- (5) 国内外の健康の向上につながる人材の育成・援助等の人材開発事業

C O N T E N T

ごあいさつ	1
「たばこ対策、日本と世界の動向」	アレックス・ロス…2
第65回 WHO総会について	高岡志帆…6
沿革	8
「WHO憲章」	9
●日本WHO協会フォーラム「歯と健康」	
「今、何故『歯と健康』か」	関 淳一…10
歯周病と糖尿病の不思議な関係	柏木厚典…11
生きる力を支える歯科医療～歯科健診の充実を目指して	深田拓司…13
特定集団に対する結核対策	森下福史…15
共同企画フォーラムの開催のお知らせ	20
第16回 関西感染症フォーラム開催のお知らせ	21

ごあいさつ



公益社団法人 日本 WHO 協会
理事長 関 淳一

日本 WHO 協会は、4 月 1 日に登記の手続きを終え、公益社団法人として、新たな一步を踏み出しました。その後 4 月 20 日付で、以後当協会に寄せられる寄付金等については、税額控除の対象となる旨の証明証が交付されました。

今年も、5 月にジュネーブに於いて WHO の年次総会 (World Health Assembly, WHA) が開催され、数多くの議決がなされました。その内容と我が国の関与等について、高岡志帆様 (厚生労働省大臣官房国際課) に分かり易く解説して頂くことができました。

また今回は、現在 WHO 西太平洋地域事務局 (WPRO) の結核対策課コンサルタントとして仕事をされている森下福史様に WPRO でのインターンシップの経験についてレポートして頂きました。

ご多忙の中、執筆の為に貴重な時間をお取りいただいたお二人に心から感謝いたします。

去る 3 月 8 日に、フォーラム「歯と健康—健やかな生活は口腔保健から」(厚生労働省、日本医師会、日本歯科医師会後援) を開催しました。今回のフォーラムは、近年世界的に、歯周病と全身性疾患 (糖尿病等) との相互関係について多くの研究論文が発表され、医科と歯科の相互協力の下での医療が世界的な流れとなっている中、日本での啓発の意味を込めて企画いたしました。講師としてお招きした、柏木厚典先生 (滋賀医科大学附属病院長) と深田拓司先生 (大阪府歯科医師会常務理事) から歯周病と全身性疾患の関係についての最近の研究成果等について、各々の立場から先ず講演があり、その後会場からの質疑を交えたパネルディスカッションでは活発な意見交換が行われました。フォーラムでの講演の要旨は、本号に掲載されております。

その後、5 月 31 日には、世界禁煙デーに合せて、第 2 回禁煙セミナー「たばこ規制・・・世界と日本」を開催しました。このセミナーでは、昨年 10 月に

就任された WHO 神戸センター (WKC) のアレックス・ロス所長と当協会の理事でもある大島明先生 (大阪府立成人病センターがん相談支援センター) のお二人に基調講演をお願いいたしました。ロス所長は、「たばこ政策 日本と世界の動向」と題した講演の中で、世界の禁煙都市の実例を詳しく紹介され、日本の現状と対比して、日本が今取り組まなければならない点について、示唆に富んだお話をされました。大島明先生は「我国のたばこ規制の現状と課題」と題して、先ず日本の喫煙率の推移等について分析され、禁煙を勧める上での保健、医療の現場での問題点と今後のたばこ規制のあるべき姿などについて、極めて具体的に話されました。

ロス所長には、当日神戸での WKC 主催の「世界禁煙デー 2012 記念フォーラム」と日程が重なっている中、貴重な時間をとっていただき、心から感謝いたしております。

また、当日セミナー開始前に、ロス所長と当協会の理事のメンバーとの懇談の場をもつことができました。懇談会では、和やかな内にも率直な意見交換が行なわれ、その中でロス所長は、今年の WHO のテーマでもある「高齢化と健康」の問題について触れられ、これからの高齢化社会に対応する為には、革新的なアプローチが必要なことについて、御意見を述べられました。その上で、WKC として、その分野での研究の遂行と近い将来のセミナー開催に強い意欲を示されました。「高齢化と健康」の問題は、現在グローバルな課題であると同時に、高齢社会の先頭を行く日本にとっても最重要課題であります。私共、日本 WHO 協会として、WKC がアレックス・ロス所長の下、大きな成果を挙げられることを心から期待いたしております。

2012年7月